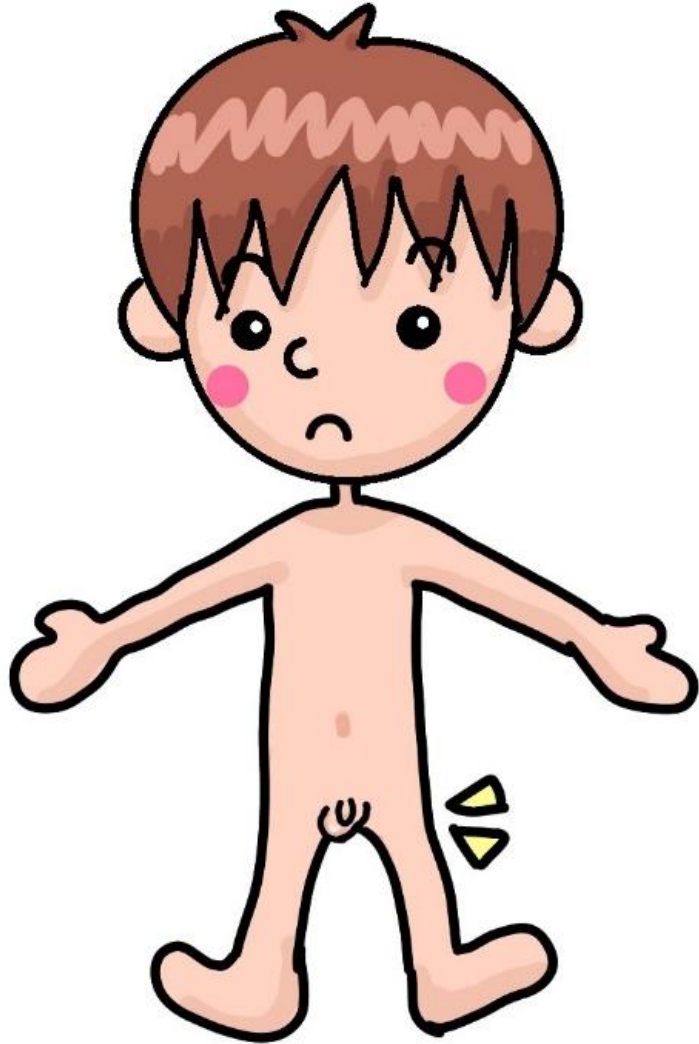


たろうくんの しゅじゅつの おはなし





たろうくんは いつもとっても げんきです。

だけど こまったことが あります。

おちんちんの ふくろが

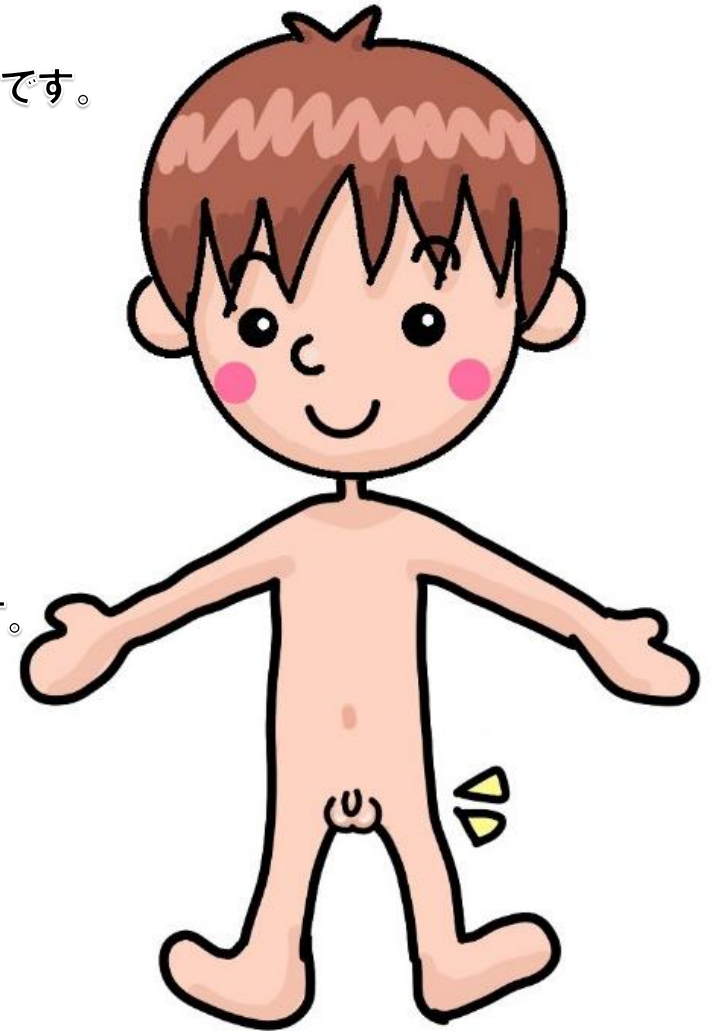
かたほう しぼんでいます。

このまま ほうっておくと

いたく なっちゃうかも しれないんです。

でも だいじょうぶ。

しゅじゅつを すれば なおるんだって。



たろうくんは おもいました。

「しゅじゅつって なんかことを
するんだらう。」

では なんかことをするか

たろうくんの しゅじゅつを いっしょに みてみましょう。



きょうは たろうくんの

しゅじゅつの ひ。

きょうは

あさごはんが たべられません

「あさごはんを たべると、

きもちわるく なってしまうんだって。」

「おなかが すくけど

がまん がまん。

だって、きもちが わるくなったら

やだもんね」



しゅじゅつの ひは のみものが きまっています。

「あさ、おみずか おちやを、

これくらい のむことが できるんだって。」

じかんに なったら のものは おしまいです。



「なんだか のどが かわくけど がまん がまん」

「あそんでいれば へいきだよ。」



※ご家族の方へ：飲水の量と時間は医師から指示されます。指示がでたら

時計に針をかきこんでお子様に教えてあげてください。また小児病棟では、好きなおもちゃを持ってきていただけます。

ただし、ぬいぐるみなど衛生上の問題があるもの、大きすぎるものや大量のおもちゃの持ち込みはご遠慮いただいております。

計測用に、病棟の哺乳瓶を使用しています。飲む際は普段お子様が使用しているコップをご使用ください。

しゅじゅつの ひは
おきがえを します。

「こんな おようふくだよ。」

さて なんの えが
かいてあるでしょう。



※幼児でも、体が大きいお子様は、成人用の青い術衣を着ることもあります



しゅじゅつの ひは かんごしさんが、
こんな おくすりを おしりに います。

おしりの おくすりを 入れるときは
べっど
ベッドに ごろんして おひさを まけて
えびの ^{ぼーず}ホースを しましょう。



「いきを『ふ————』って はくと あまり いたくないんだって。

せーの、ふ—————！

あ、もうおしまい。」

おくすりのあとは
べっど
ベッドの うえで すごしましょう。



※座薬の大きさは、ほぼ原寸大です。

ご本人の同意が得られない場合、安全に行うため、体を押さえさせていただくこともあります。

しゅじゅつのおへやには

うごく^{ベッド}にのっていきます。

「^{タイヤ}があるから

くるまみたいにうごくよ。」

^{エレベーター}にのって、

ながいろうかをとおって、

もういちど^{エレベーター}にのったら、

しろいおへやにとうちゃくです。

※写真は幼児用のストレッチャーです。お子様の体が大きい時は、大人用のストレッチャーで移送することもあります。
手術室は時間帯により大変混み合うため、ご両親以外のご家族のかたは、病棟でお待ちください。

しろい おへやに ついたら、
みどりいろの おようふくの せんせいや、
むらさきの おようふくの
かんごしさんたちが
あいにきます。

「かんごしさんが せんせいたちとおなじ
ふわふわの ほうしを くれたよ。」





しゅじゅつのおへやは
こんなところ。
まんなかの^{ベッド}ベッドに
ごろんしましょう。



「あ、ごろんしたら
おおきな^{らいと}ライトがみえたよ。
おおきくて かつこいいなあ。」

※広い部屋の中に、たくさんの器械が並んでいます。手術室の中まで同伴されるご家族のかたは、器械に触れないようご注意ください。



むらさきの かんごしさんが おむねや ゆびに
ぺったんぺったん しゅほしゅほも つけて

みどりいろの せんせいが

まずく
マスクを おかおに くっつけます。

「これは まずく においの マスク。」

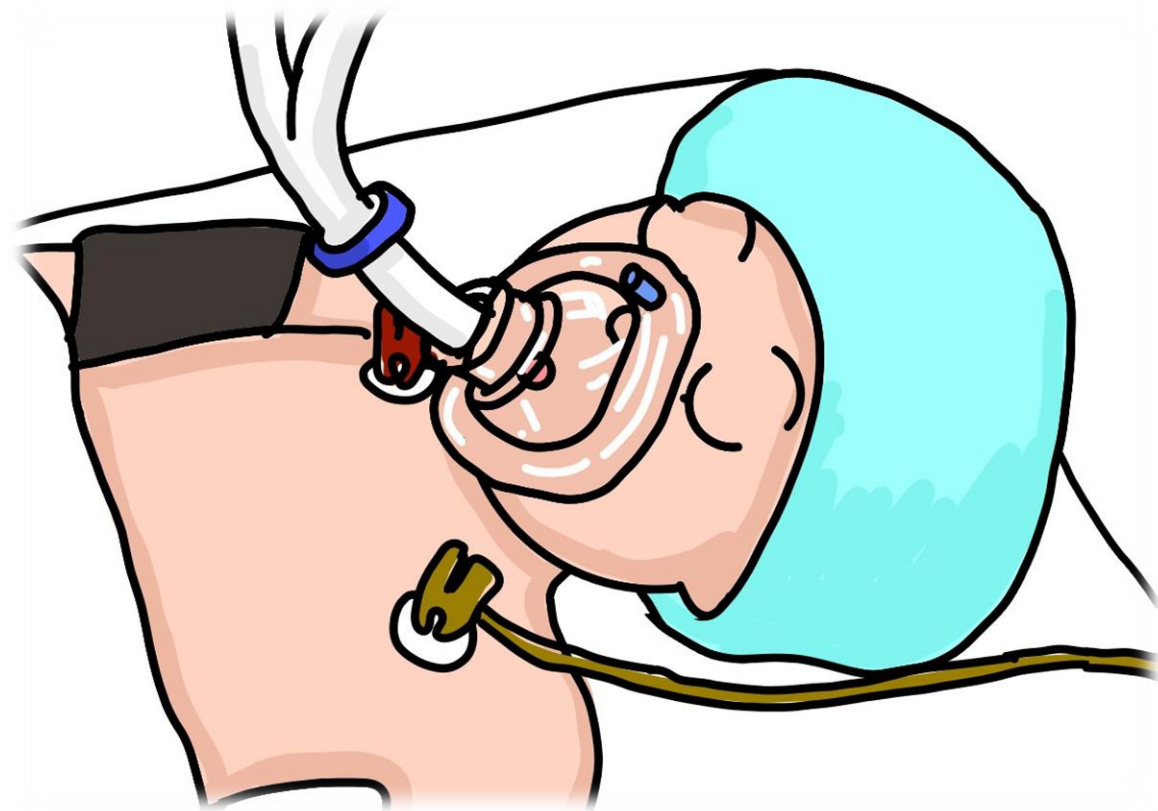
ほくが えらんだ においだ。」

いきを おおきく すってー はいてー

「じょうずに やったら、ねむくなっちゃった。」

「おやすみなさい・・・」

ねている あいだに しゅじゅつは おしまい。



※入室に同伴される場合、ご家族の方はお子様が眠るまでそばで声をかけたり、手を握っていただくことができます。
お子様が眠ったら、看護師の指示にしたがって退室してください。

「しゅじゅつが おわったら せんせいが おこしてくれたよ。」

おきあがらなくて だいじょうぶ。

うごく ^{ベッド} ベッドに ごろん したまま。

せんせいと かんごしさんが

^{ママ} ママや ^{パパ} パパの ところへ つれていってくれます。

おへやに つくまで、きいろい ^{ベッド} ベッドに ごろん したまま。



「おへやに ついても、まだ ねむたい かんじ。」

^{ベッド} ベッドの うえで ごろん していきましょう。

かんごしさんが、なんかいか、もしもし しにきます。

※術後は麻酔の影響で、お子様が興奮することがあります。安心できるよう、優しく声をかけ、手を握ってあげてください。
抱っこや、ベッドで添い寝をしていただいてもかまいません。

せんせいが

なおしてくれたところは

どんなふうになってるかな？

「^{しーる}シールが ぺったん

してあるよ。

さわると

いたくなっちゃうんだって。

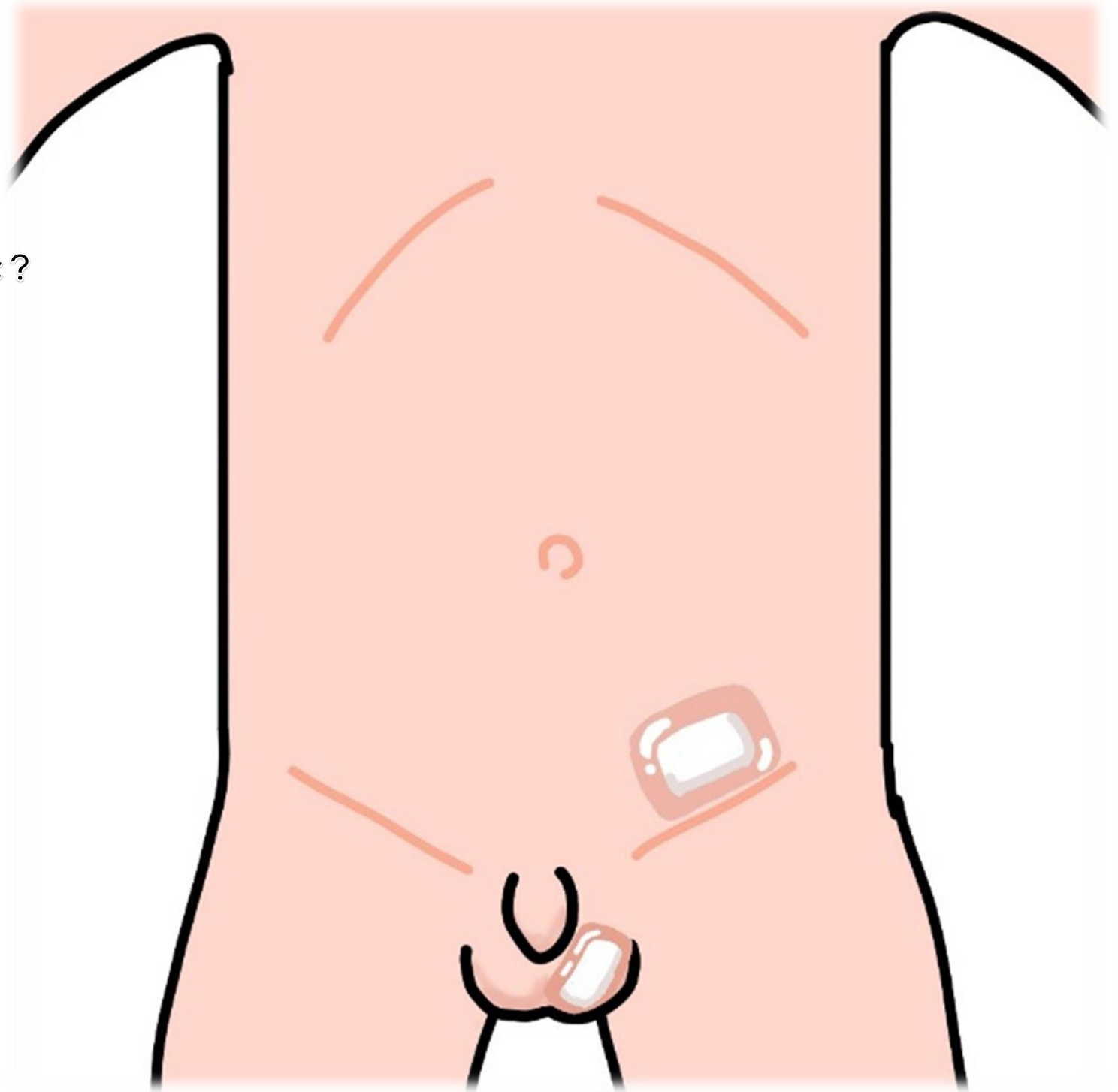
そーっと しておこう。」

もし いたくなったら

^まママや ^ぱパパや

かんごしさんに

おしえてください。



「おみずを のみたくなるけど、がまん がまん。のむと きもちが わるくなっちゃうんだって。」

かんごしさんが、おなかを もしもし して「いいよ」って いったら おみずか おちゃを のめます。

さいしょは

すこしだけ…



じかんが たったら

もう っかい…



また じかんが たったら

もう っかい。



ごはんは よるごはんから たべられます。ゆっくり、よくかんで たべましょう。

看護師が、お腹の動きを確かめてから飲水を始めていきます。飲水は 30 分ずつ間隔をあけて 3 回行い、少しずつ量を増やします。量はからだの大きさによって変わることもあります。



ねむたくなくなって

かみごしさんが「いいよ」っていったら

ぶれいるーむ
ブレイルームに いけます。

なおした ところが いたくならないように

すわって、あそびましょう。

よるごはんを たべたら

おくすりを ごっくんします。

「はいきんを やっつける

たいせつな おくすりなんだって。

おくすり きらいだけど・・・」

ごっくん！

「あー、じょうずに のめた。」

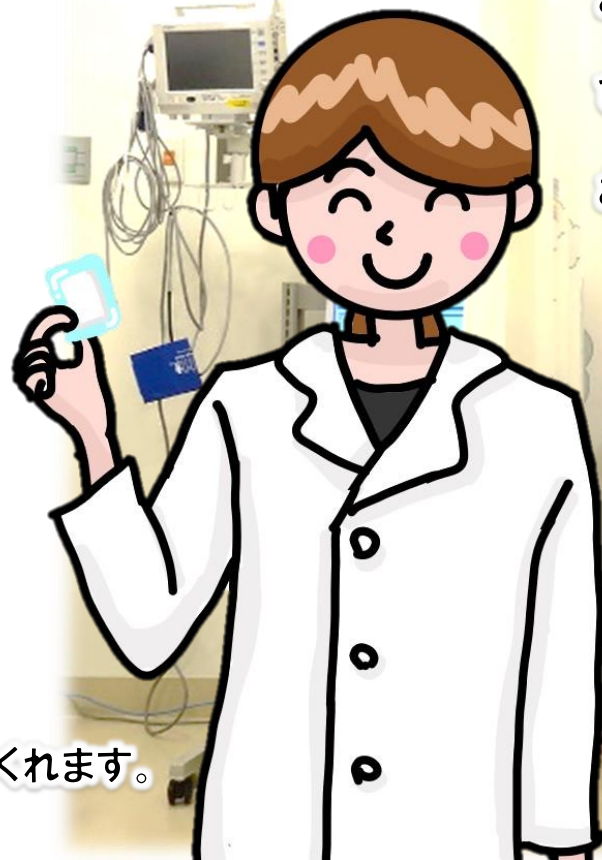


※ほぼ原寸大です。通常粉の薬ですが、錠剤が良ければ入院の際にお伝えください。病棟では水とスポイトを用意しておりますが、普段の特別な方法があれば看護師にご相談ください。入浴はできませんが、翌日からシャワーに入れます。

しゅじゅつの つぎの ひは
くまさんの おへやに いきます。



べっど
ベッドに ごろん したら、
せんせいが
なおしたところの ^{しーる}シールを
あたらしいのに こうかん してくれます。



^{しーる}「シールを とって はるだけ だから

いたくないよ。」

あさごはんを たべて

おくすりを ごっくんしたら

びょういんは もうおしまい。

おうちに かえる じゅんびを しましょう。

※手術翌日の朝、処置室で行います。処置の間、ご家族の方には処置室の前でお待ちいただきます。

たろうくんは しゅじゅつを して
からだか
げんきに なりました。

しゅじゅつで とっても がんばったので
ま^まま^まや ぱ^ぱぱ^ぱに
たくさん たくさん
ほめて もらいました。

たろうくんは とっても
うれしい きもちに なりました。
がんばったね、たろうくん。



※退院後は外来受診までシャワーのみとし、お風呂に入るのは控えてください。また、保育園・幼稚園はお休みしてください。

退院後1カ月間は、鉄棒や自転車など、創部に負担のかかる激しい運動は避けてください。



ご家族のかたへ



この絵本はご退院の際に病棟の看護師にご返却いただくようお願いいたします。